

平成29年4月3日

ブロックチェーン関連技術を活用した「内外為替一元化コンソーシアム」へ参加！ ～フィンテックにおける革新的な技術による柔軟で効率的なシステム構築の実現～

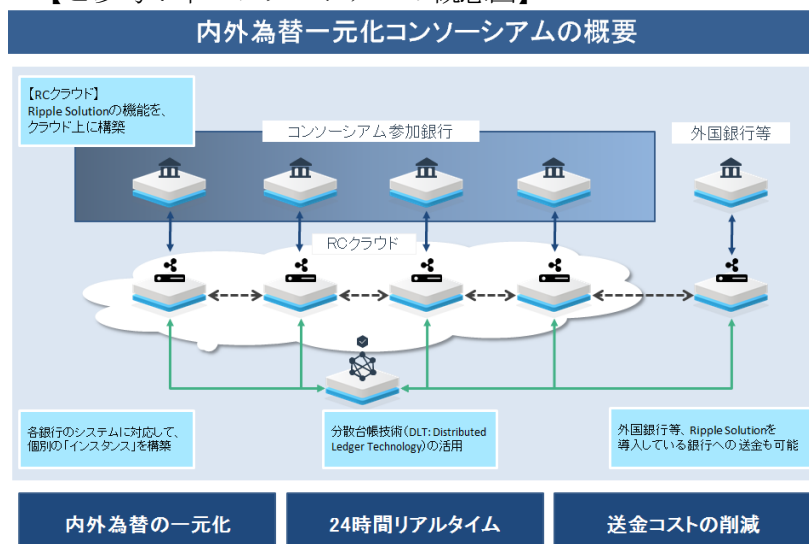
株式会社 千葉興業銀行（頭取 青柳 俊一）は、SBIホールディングス株式会社（代表取締役 北尾 吉孝）及びSBI Ripple Asia株式会社（代表取締役 沖田 貴史）が事務局を務める「内外為替一元化コンソーシアム」（以下、本コンソーシアム）に、4月1日より参加することで合意しましたのでお知らせいたします。

ブロックチェーン関連技術は、Fintechにおける革新的な中核技術であり、金融機関システムの安定性向上や、柔軟で効率的なシステム構築の実現が期待されています。

当行では、お客さまへのさらなるサービス向上のため、さまざまな取り組みを加速しております。近年のICT（情報通信技術）の革新的変化と顧客行動や社会生活の変化に伴う決済の24時間化・リアルタイム化や小額決済等の振込ニーズの多様化とともに、越境eコマースや日本企業のアジア進出によるボーダレス化に対応するため、決済分野における新たな取り組みとして、本コンソーシアムに参加することとしました。ブロックチェーン関連技術（分散台帳技術）を活用した新たな送金・決済サービスの検討を重ねてまいります。

以上

【ご参考：本コンソーシアムの概念図】



【本コンソーシアムの概要】

内国為替と外国為替を一元化した 24 時間リアルタイムでの送金インフラ構築をめざし、2016年10月に42行で発足しました。参加金融機関数は2017年3月末日現在、47行となっております。

本コンソーシアムでは、ブロックチェーン関連技術（分散台帳技術）を活用し、外国為替に加えて内国為替も一元的に行う決済プラットフォーム「RCクラウド」を構築し、現在、実証実験を進めておりますが、来年度にかけて商用化への本格的な対応を行う予定です。



いってみようかな？
きいてみようかな？
ちば興銀！